

林 樹里 | Julie Hayashi

あらわれの手前、さわりをすくう
Sawari : Before It Appears, Gathering a Touch

2026年2月7日(土) - 2026年2月28日(土)

開廊時間 12:00 - 18:00 | 日・月・祝休み

レセプションパーティ : 2026年2月7日(土) 17:00-19:00



作品画像 : 林樹里 風とおる庭 530×727mm

YUKIKOMIZUTANIでは2026年2月7日(土)から2月28日(土)まで、林樹里個展「あらわれの手前、さわりをすくう」を開催いたします。林樹里はこれまで「おのずから現れるもの」、「うつろうもの」をテーマに制作を行ってきました。江戸時代の琳派の作品に見られる「にじみ」や「たらしこみ」の技法研究を起点に、「自然(じねん)」の思想に関心を寄せ、「みずから」が描く行為と、画材が「おのずから」生む現象の間を往来し、自然と対話するように制作しています。

YUKIKOMIZUTANIで初の個展となる本展では、これまでの「さわり」シリーズのように、琳派作品に見られる「おのずからなるもの」(自然に委ね、任せる精神)を軸に据えつつ、江戸から明治にかけて隆盛した文人文化に思いを馳せ、旅を通して得た体験をもとにした新作を発表いたします。「さわり」とは三味線音楽の用語で、雑音成分を指すと同時に、音や物事の要となる部分を意味する言葉です。各地を訪れ、その土地ごとに林自身の内側に立ち上がる空気や音の気配を「さわり」と捉え、それらを楽譜のように絵に留めた新シリーズを是非ギャラリーにてご高覧ください。

作家ステートメント

沈黙が聴いている。
世界が形や意味として立ち現れる以前
自然はすでに静かに響いている。

かつての文人たちがそうしたように
私は各地を訪れ
その場に身を委ね 描く。

旅に出る前から
その気配は立ち上がり
まだ見ぬ情景は 前夜 私へふいに近づいてくる。

描く時 私は自然が為す時間のそばにあり
ときに呼びかけながら
そのあらわれの手前にある微かな“さわり”を
すくうように譜す。

作品は私と自然のあいだを行き来した痕跡となる。
そして ひとたび作品となったのち
楽譜のように 再び新しい響きをもたらす。

【林樹里 プロフィール】

1989年 大阪府生まれ

2013年 東京藝術大学 美術学部 芸術学科 卒業

2015年 東京藝術大学大学院 美術研究科文化財保存学専攻 保存修復研究領域(日本画) 修士課程 修了

2018年 東京藝術大学大学院 美術研究科文化財保存学専攻 保存修復研究領域(日本画) 博士課程 取得
東京藝術大学大学院 専門研究員、芳泉文化財団 展覧会事務局 学芸員

2019年 東京藝術大学 COI拠点 特任助手、日本美術院 院友 (-'23)

2023年 ポーラ美術振興財団在外研究員としてロンドンを拠点に欧州で研修滞在

現在 東京を拠点に活動



作品画像：
林樹里 みなもに浮かぶ 455×530mm

【主な個展】

2023年 「bruit dans l'ombre」(Galerie Du Forez・パリ)

2024年 「noise in the shadow」(Fitzrovia gallery・ロンドン)、「静寂の音をうつす」(SHIZUKA BUILDING LOUNGE・大阪)

2025年 「Touching the Threshold of Calm」(神戸阪急・兵庫)、「風声」(京都・建仁寺塔頭 霊源院) など。

【主なグループ展・アートフェア】

2023年 「canards dans les turbulences」(Le Petit Prieuré・パリ)、「ADVENT」(JG Contemporary・ロンドン)、
「crossroads of landscapes; Dialogues」(Atelierhaus Speicher II, Atelier 1.2・ドイツ・ミュンスター)

2024年 「Beautiful Foolishness～遊びをせんとやうまれけむ～」(藝大アートプラザ・東京)

「ONE ART TAIPEI」(Hotel Metropolitan・台北)、「ART TAINAN」(Silks Place Tainan・台南)

2025年 「うつろの疏水をながめたとき」林樹里・坪本知恵 (YUKIKO MIZUTANI・東京)

「ART FAIR TOKYO」(東京国際フォーラム・東京)、「ART TAINAN」(Silks Place Tainan・台南)

【プロジェクト】

2016年 「飯館村山津見神社・復元天井絵展」(福島県立美術館) 山津見神社天井絵復元

2023年 「Sento Art Project『ツツマレル。』」株式会社ツムラ・イベント(大黒湯、黄金湯・東京)

2024年 「Oki Research Project」(隠岐諸島海士町・島根)

【ワークショップ・講義・公演】

2023年 「ミュージアム・レクチャー『文化財の継承と作品制作』」(埼玉県立近代美術館)

日本画ワークショップ (Atelierhaus Speicher II, Atelier 1.2, ドイツ・ミュンスター)

2024年 「Nihonga: Traditional Japanese painting」(キングス・ファウンデーション伝統芸術学校, ロンドン)

「Nihonga -Japanese traditional painting」(シティ・アンド・ギルズ・オブ・ロンドン美術学校)

「Nihonga workshop」(Center for Japanese Studies, ミシガン大学, アメリカ)

2025年 「台日交流イベント『菫』第二弾『聲跡・筆響』」楊雨樵・劉芳一・何承恩・林樹里 / 公開制作・公演



Instagram